



長崎の教会群とキリスト教
関連遺産を世界遺産へ

祝 世界文化遺産 国内推薦決定!!

日野江城跡・原城跡を 世界遺産に!

長崎の教会群とキリスト教関連遺産は、450年以上にも及び日本におけるキリスト教の伝播と浸透のプロセスを示す歴史的遺産です。その中でも本市の構成資産である日野江城跡・原城跡は、キリスト教の潜伏から復活前の時代、「繁栄と弾圧」を担っています。特に16世紀の大航海時代における国際貿易と文化交流の拡大、17世紀の日本の禁教と鎖国政策のきっかけを作った遺産として重要視されています。

これまでの取り組み

日野江城跡、原城跡の世界遺産登録に向けて日野江城跡整備基本計画、原城跡整備基本計画を策定し、史跡の保存管理を明確にしました。構成資産の持つ価値を周知するため、各種シンポジウムの開催、ガイドの会との連携、市民協議会議への協力など、市民と力を合わせた事業を推進しています。学校教育の場では教職員を対象にした講演会やセミナー、3D版画展など世界遺産登録に向けた事業も実施してきました。

今後に向けて

今回の決定で大きな一歩を踏み出しましたが、新たなスタート台に立ったばかりとも言えます。これまでに以上史跡の保全整備を行い、来訪者の受入体制を充実させる必要があります。念願の世界遺産登録というまたとないチャンスを実に捉え、地域の発展につなげていくためには、市民の皆さんのご支援が欠かせません。日野江城跡・原城跡が世界の宝となるようご理解とご協力をお願いします。



原城跡



日野江城跡

1月16日の閣議で「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」が、ユネスコの世界文化遺産の国内推薦に決定しました。
 今後は、ユネスコに推薦書が提出され、現地調査を経た後に来年夏ごろ開催予定の世界遺産委員会で登録審議がされます。

念願の世界文化遺産国内推薦に「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」が決定しました。
 昨年は残念ながら国内推薦はかきませんでした。県をはじめ構成市町がさらなる推薦書内容の精査を図り、万全な体制で国内推薦を勝ち取るための準備を続けてきました。そして、1月16日、本市の構成資産である日野江城跡、原城跡を含む「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の価値の証明や万全の保護などの諸準備が整っていることから、閣議で世界遺産への推薦を了解しました。
 わが国におけるキリスト教の伝来と繁栄、激しい弾圧と250年もの潜伏、そして奇跡の復活に至る世界

に類を見ない歴史を示す「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の価値が高く評価されたこととなります。今後はユネスコの専門機関「イコモス」の現地調査が今年9月ごろに行われ、来年夏ごろ開催予定の世界遺産委員会でも世界文化遺産登録を目指します。

世界遺産啓発事業事例フォーラム
世界遺産「熊野古道」「富士山」に学ぶ
～2016年の話をしよう～
 2月11日(水・祝) 13:30～16:40
 ありえコレジヨホール
 事前に電話で申し込んでください。
 企画振興課 ☎050(3381)5030
 ●主催 南島原市世界遺産市民協議会議

お祝いメッセージ



国内推薦の決定
おめでとうございます

有馬家第27代当主
有馬 匡澄さん

今回のユネスコの世界文化遺産への国内推薦決定おめでとうございます。400年前の戦国時代、有馬家が深くかかわった日野江城跡、原城跡が世界の宝になることを祈念しています。



輝け! 国際舞台の地
南島原

上智大学 理事長
高祖 敏明さん

昨年度、創立100年を迎えた上智大学の前身は、南島原にあった有馬のセナリヨ。天正遣欧使節の4人や岐部ペドロなど多くの国際人を輩出した南島原が、再び国際舞台に立つ日を楽しみにしています。



南島原の世界遺産登録を応援しています

イタリア大使館 学術文化担当官
コッラード・モルテーニさん

キリシタン大名サミットで南島原市を訪れました。16世紀の大航海時代、イタリア人との貴重な交流があった南島原の世界遺産登録を応援しています。

これまでの主な取り組み



世界遺産登録推進シンポジウム
平成25年5月



キリシタン大名サミット
平成24年6月



世界遺産暫定一覧表登録記念シンポジウム
平成20年2月